

田城郁参議院議員



駅員への暴力根絶に向け 国土交通委員会で質問に立つ!

5月21日、田城参議院議員は駅員への暴力根絶にむけ、太田国土交通相に質問を行いました。田城議員は増え続ける駅員への暴力の実態、駅員への暴力は駅の安全、さらに鉄道の安全確保を脅かす深刻な事態であることを具体的事例をひき質問をしました。

とりわけ2010年八王子支社管内で発生したグリーンスタッフへの暴力行為に対しては、本人や家族の生活をも狂わせる深刻な実態にあること等、現場の声を国政に届けました。

太田国土交通相は、暴力行為の実態調査を実施していくことを答弁し、田城議員の質問によって、国政の場でも暴力行為根絶にむけ、大きな一歩を進めることができました。

駅員への暴力「調査」

国交相、田城氏に答弁

国土交通

太田国土交通相は21日の参院国土交通委員会、民主党の田城郁参議院議員の鉄道駅員や乗務員に対する暴力行為に関する質問に答え「抑止策を打ち出すにはきめ細かな実態の把握が大事だ」と述べ、全国的な調査を行う考えを示した。

国交省は近く、鉄道事業者や警察と連携し、調査項目の検討に入る。

田城氏は大手民営鉄道やJRなど計26社の調査で、利用者による駅員や乗務員らへの暴力行為が2011年度に911件あった、と説明。「実際はこの数字を上回る可能性が高い。公共交通の安全確保の観点からも実態把握を」と求めた。

また田城氏は、1981年以前に建てられた大型施設に耐震診断を義務づける耐震改修促進法改正案に関連し、耐震化が遅れている現状も指摘した。

下野新聞 5月22日より

JR東労組は、参議院全国比例予定候補者

山岡けんじさんを応援しています!